

## 木蓮

梅の終わる頃に木蓮の花が咲き始めます。この時期は菜種梅雨と重なって、長雨が続きます。年によっては遅霜にあい茶色く変色してしまうこともあります。私は特に白い花を眺めているといつも汚れた心が洗われる心境になります。白木蓮が咲いて、次に(紫)木蓮が咲きますが、先端が北に向く傾向があり、長い間、不思議に思っておりました。SNSで、それに気づいた人がおり、コンパスフラワーと名付けておりました。私はずいぶん考えを巡らせ、解答を見出すことができました。ただし、正解かどうかは分かりません。ただ、科学的に分析すると、南側は陽が当たり、成長が早く花卉が膨らみやすいから、必然的に先端が北に向くというのが、私の見解です。

木蓮は恐竜時代(9500年前)の化石層から発見され、地球上最古の花木だそうです。そのせいか、咲く時期が気象に左右されることなく、一定しているように思われます。原産地は中国の雲南省・四川省あたりで、日本には平安中期、和名類聚抄の本に記載されております。学名はマグノリア、種類は210種位あり、日本では、一般的に(紫)木蓮・白木蓮・サラサ木蓮(ピンク)が植えられ、それぞれ4~5m・10~15m・6~10mの大きさになります。珍しい品種として金寿(黄金)木蓮もあります。中国では木蘭と呼ばれておりますが、日本では蓮の花に似ていることから、木蓮と呼んでおります。開花日数は3日間と短く、どっさっと一気に花卉が落ちます。花卉は木蓮が6弁・白木蓮が6弁とガク3弁あります。よく似た花でコブシ、シデコブシがありますが木蓮より少し遅れて咲き、乱れ咲が特徴です。種が握りこぶしに似ていることから、名が付けられたようです。その他タムシバがありますが、花卉の下に葉がないのが特徴です。また、木蓮の仲間にタイサンボク、オオヤマレンゲ等もあります。